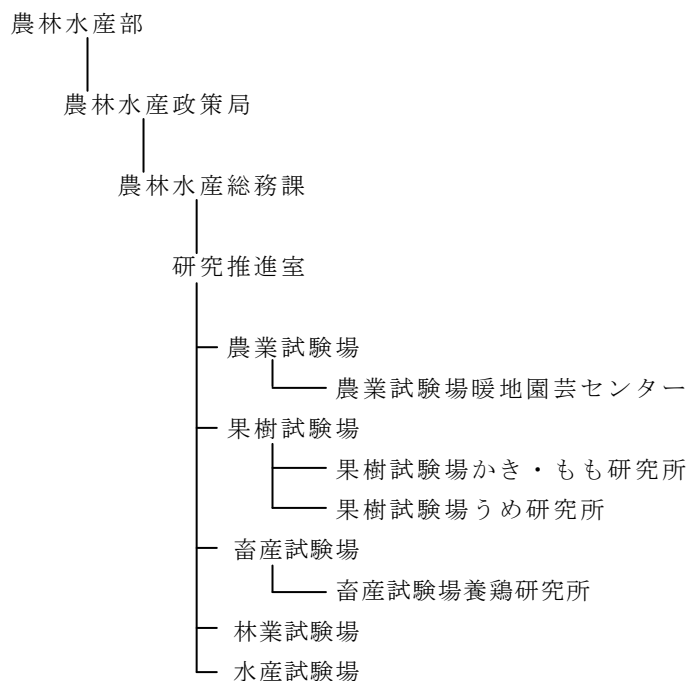


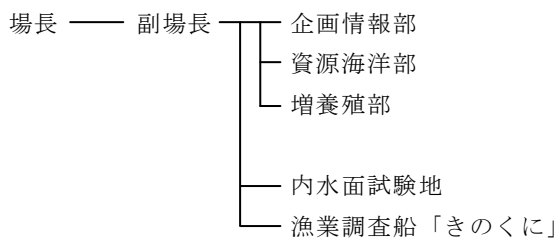
水産試験場概要

I 機構と組織

1) 機構



2) 内部組織



3) 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	2	4
資源海洋部		5		5
増養殖部		5	1	6
内水面試験地		4	1	5
漁業調査船	8			8
	8	18	4	30

4) 職員と職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	中西 一	場の総合企画及び総括
	副場長	小久保 友義	場の総合補佐, 人事, 服務, 庁舎の管理, 予算の総括
企画情報部	部 長 (副場長兼務)	小久保 友義	部の総括・企画調整
	主任研究員	山内 信	成果の公表・普及, 藻場造成(カジメ・ヒロメ類)に関すること
	主査研究員	向野 幹生	流通, 人工魚礁の効果調査, 特産魚の体成分に関すること
	用務員	田所 恵子	庁舎内外の清掃及び雑務
	用務員	田中 千秋	〃
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整
	主任研究員	中地 良樹	海洋観測, 黒潮変動に関すること
	主査研究員	堀木 暢人	資源管理, 船びき網漁業に関すること
	主査研究員	原田 慈雄	卵稚仔調査, まき網漁業, 特産魚の産卵場に関すること
	主査研究員	干川 厚	人工衛星画像, 高度回遊性魚類, 海況日報作成に関すること
増養殖部	部 長	奥山 芳生	部の総括・企画調整, 飼育施設等の保守管理に関すること
	主任研究員	濱地 寿生	種苗生産, クエの共同研究, 浅海増殖に関すること
	主査研究員	諏訪 剛	藻場造成(ホンダワラ類)に関すること
	副主査研究員	白石 智孝	スマ及びマナマコの種苗生産, 漁場環境, 栽培漁業に関すること
	研究員	山根 弘士	魚病対策・魚類防疫に関すること
	現業技能員	佐々木 明生	調査研究の補助
内水面試験地	主任研究員	葦澤 崇博	魚病対策・魚類防疫, ウナギ資源に関すること
	副主査研究員	中山 仁志	アユ低コスト飼料, アユ冷水病対策ワクチンに関すること
	副主査研究員	吉本 洋	アユ資源に関すること
	研究員	田上 伸治	業務全般, 施設整備の補助
	現業技能員	佐武 功三	施設整備, 業務全般の補助
漁業調査船 (きのくに)	船 長	伊勢谷 俊人	船舶の管理・運航, 海洋調査, 飼育施設等の保守管理に関すること
	機関長	亀谷 弘	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	岸 幸一	〃
	主査機関士	鳥居 英希	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
	副主査機関士	井上 正之	〃
	副主査航海士	清野 茂	〃

II 業務

1) 試験研究項目一覧

事業名 又は 課題名	予算額	財源内訳			
		国庫補助	国庫委託	雑入	一般財源
水産試験場費	100,413	900		20,017	79,496
水産試験場運営	18,736				18,736
内水面試験地運営	4,402			1,520	2,882
調査船運航	47,134				47,134
紀州特産魚ブランド力強化のための体成分 特性の解明	1,999				1,999
漁業資源・漁場調査と情報提供	12,572			12,572	
高度回遊性魚類調査	4,500			4,500	
和歌山県特産魚の産卵場解明	510				510
消波ブロックの有効利用による漁村活性化	1,922				1,922
磯根漁場の生産力強化技術の開発	1,743				1,743
新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発	1,735				1,735
水産衛生対策	1,800	900			900
鰻生息状況等緊急調査	1,000			1,000	
低コストなアユ養殖飼料の開発	1,935				1,935
アユ冷水病由来毒素を応用した新規トキ ソイドワクチンの開発	425			425	
水産業振興費	3,310	450			2,860
資源管理・回復推進（資源管理課）	2,585	441			2,144
漁場環境保全等モニタリング（資源管理課）	97	9			88
栽培漁業推進（水産振興課）	628				628
漁業調整費	54				54
漁業構造改善費	851				851
漁場効果調査（水産振興課）	701				701
プエルルス調査（水産振興課）	150				150
	104,628	1,350		20,017	83,261

III 業績

1 外部に発表した事項

1) 一般雑誌

題名	発表者	発表雑誌
○近年の紀伊水道外域におけるマアジ・マルアジ・ さば類を対象とした2そうまき網漁業の漁場形成 について	原田 慈雄 武田 保幸	黒潮の資源海洋研究 第15号

2) 学会等の口頭発表

題 名	発 表 者	発 表 誌
○ブダイにおけるクダア属粘液胞子虫の寄生	山根弘士 白樫正* 横山博** 石谷浩江* 柳田哲矢***	平成25年度日本魚病学会秋季大会(口頭発表)
○スマの養殖技術の開発-1 15トン円形水槽を用いた種苗生産試験	白石智孝 濱地寿生 奥山芳生 中西一 竹内裕**** 矢澤良輔***** 吉崎悟朗*****	平成26年度日本水産学会春季大会 (口頭発表)
○冷水病菌由来毒素の探索	中山仁志 寺村直子***** 服部俊治*****	平成26年度魚類学会 (ポスター発表)

※近畿大学水産研究所、※※東京大学、※※※旭川医科大学、※※※※東京海洋大学、※※※※ニッピ・バイオマトリクス研究所

3) 委託事業報告書等刊行物

- (1) 漁海況速報 (週刊)
- (2) 人工衛星画像海況速報 (2013-No. 36~145, 2014-No. 1~33)

4) 農林水産省研究会資料等

題 名	発 表 者	発 表 誌
○平成25年度国際資源対策推進委託事業第1回カツオSU推進検討会	干川 厚	同会議資料
○平成25年度瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議	堀木 暢人	同会議資料
○平成25年度国際資源評価等推進委託事業第3回カツオSU推進検討会	干川 厚	同会議資料
○平成25年度中央ブロック資源評価会議および第1回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議	堀木 暢人 原田 慈雄 中地 良樹	同会議資料
○平成25年度瀬戸内海ブロック資源評価会議	堀木 暢人 原田 慈雄	同会議資料
○平成25年度中央ブロック資源・海洋研究会	堀木 暢人 原田 慈雄 中地 良樹	同会議資料
○第2回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議、第3回資源評価調査担当者会議	堀木 暢人 原田 慈雄 中地 良樹	同会議資料
○平成25年度関東・東海ブロック水産海洋連絡会	干川 厚	同会議資料

題 名	発 表 者	発 表 誌
○平成 25 年度国際資源評価等推進委託事業まぐろ調査研究成果報告会	原田慈雄 千川 厚	同会議資料
○平成 25 年度水産増養殖関係研究開発推進会議養殖産業部会	中山仁志	同会議資料
○平成 25 年度中央ブロック水産業関係研究開発推進会議「漁業資源部会」・「海洋環境部会」「資源生産部会」	奥山芳生	同会議資料
○平成 25 年度瀬戸内海ブロック水産業関係 研究開発推進会議・生産環境部会・増養殖部会合同部会及び藻類情報交換会	奥山芳生 諏訪 剛	同会議資料
○平成 25 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	山根弘士	同会議資料
○平成 25 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮・貝毒部会	白石智孝	同会議資料
○平成 25 年度養殖衛生管理体制整備事業太平洋ブロック地域合同検討会	山根弘士	同会議資料
○魚病症例研究会	山根弘士	同会議資料
○平成 25 年度ナマコ種苗生産研究会	白石智孝	同会議資料
○全国養殖衛生管理推進会議	山根弘士 中山仁志	同会議資料
○平成 25 年度鰻生息状況等緊急調査事業検討委員会	葦澤崇博	同会議資料
○平成 25 年度鰻生息状況等緊急調査事業 年度末報告会	葦澤崇博	同会議資料
○平成 25 年度アユ疾病研究部会	中山仁志	同会議資料
○平成 25 年度アユ資源研究部会	葦澤崇博	同会議資料

5) 新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載誌名
・初カツオ本格化へ	2013. 4. 6	紀伊民報
・ヒロメ種付け	2013. 4.12	紀伊民報
・ヒジキの生育願い磯清掃	2013. 5.11	紀伊民報
・すさみ沖メタンハイドレート	2013. 5.12	読売新聞
・高水温に強いコンブ	2013. 6. 8	紀伊民報
・「ヒロメ」の履歴書作り	2013. 6.28	紀伊民報
・マグロ類の「スマ」 稚魚の沖出しに成功	2013.10.12	紀伊民報
・すさみ町沖で本格調査 メタンハイドレート	2013.11.20	紀伊民報
・メタンハイドレート 気泡確認「可能性高い」	2013.11.27	産経新聞
・メタンハイドレート調査 海中に粒反応確認	2013.11.27	朝日新聞
・「和歌山県沖とても有望」	2013.11.28	産経新聞
・粒状の密集体確認	2013.11.28	紀伊民報
・「和歌山県沖は有望」	2013.11.29	紀伊民報
・県産ナマコ種苗量産へ	2013.12. 6	紀伊民報
・スマ（ヤイトカツオ）養殖に成功	2013.12.17	水産経済新聞
・メタンハイドレート調査	2014. 1.15	紀伊民報
・黒潮で発電 実証実験を潮岬沖で	2014. 1.19	紀伊民報
・クエ稚魚の生産軌道に	2014. 1.24	紀伊民報

・自治体 海底の宝探し	2014. 1. 28	読売新聞
・潮岬沖 2 カ月ぶり開始	2014. 1. 29	紀伊民報
・本年度 2 回目の調査	2014. 1. 30	紀伊民報
・2 回目の調査終わる	2014. 1. 31	紀伊民報
・海産稚鮎 不漁傾向	2014. 2. 21	紀伊民報

7) 研究発表会

(1) 県内養殖衛生対策会議

① 日 時

平成 25 年 12 月 17 日

② 場 所

水産試験場学習ホール

③ 内 容

- ・水産用医薬品の適正使用について
(発表者：水産試験場 研究員 山根弘士)
- ・和歌山県産マナマコの種苗生産技術の確立
(発表者：水産試験場 副主査研究員 白石智孝)
- ・成功事例からみる藻場造成（カジメ類・ヒジキ）のポイントについて
(発表者：水産試験場 主任研究員 山内 信)

(2) 水産試験場成果発表会

① 日 時

平成 26 年 2 月 14 日

② 場 所

紀南文化会館小ホール

③ 共催 公益財団法人わかやま産業振興財団

④ 内 容

基調講演 スマ（ヤイトカツオ）の完全養殖について ～千葉・館山での挑戦～
東京海洋大学 先端科学技術研究センター 准教授 竹内 裕

成果発表

- 新養殖魚「スマ」の種苗生産技術の開発
(発表者：増養殖部 副主査研究員 白石智孝)
- 近年の 2 そうまき網におけるアジ・サバ類の漁況と漁場について
(発表者：資源海洋部 主査研究員 原田慈雄)
- 紀州特産魚ブランド力強化のための体成分特性の解明
(発表者：企画情報部 主査研究員 向野幹生)
- 消波ブロックの有効活用による漁村の活性化
(発表者：増養殖部 主査研究員 諏訪 剛)
- 低コストなアユ養殖飼料の開発
(発表者：内水面試験地 研究員 中山仁志)

8) 研修生・見学者の受け入れ

(1) 研修生の受け入れ

地域社会体験研修

大島小学校教師（1名） 8月5日～8月6日

職場体験学習

潮岬中学校	(1名)	8月21日	～	8月23日
古座中学校	(1名)	8月28日	～	8月30日
西向中学校	(1名)	9月4日	～	9月6日
串本中学校	(2名)	9月10日	～	9月12日
串本西中学校	(1名)	10月2日	～	10月4日
串本古座高校	(1名)	2月12日	～	2月13日

(2)くろしおふれあい講座

①参加者

県下小学校，那智勝浦町ふれあいネットワーク 以上 227 名

②内 容

水産試験場概要説明，和歌山の漁業，海藻の分類

③見学者

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	4	13	0	0	4	11	2	11	10	35
5	0	0	1	5	2	6	6	14	9	25
6	1	1	1	2	1	3	3	11	6	17
7	1	1	2	3	3	35	3	29	9	68
8	0	0	6	6	2	5	5	18	13	29
9	2	4	4	5	4	13	2	18	12	40
10	1	0	3	205	1	4	6	51	11	260
11	1	1	1	1	4	13	3	55	9	70
12	1	20	2	14	4	21	4	79	11	134
1	1	2	2	61	1	32	3	8	7	103
2	3	23	3	43	6	74	3	16	15	156
3	0	0	1	5	1	2	2	3	4	10
計	15	65	26	350	33	219	42	313	116	947